

授業科目

日常生活活動学

担当教員名 小林 量作	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

授業の概要

本授業では、日常生活活動（ADL）の知識、技術、模擬事例について講義・演習を行う。

授業の目的

臨床実習や新人理学療法士として必要とされる基本的ADLの知識・技術を修得し、起居・移動動作、移乗動作の指導、介助が実施できるようになる。

学習目標

1. ADL概念、範囲、各種評価法の特徴を理解している。
2. 起居動作、移動動作、移乗動作、身の回り動作、福祉用具について理解している。
3. ADL聴取の技術、起居動作、移乗動作、車いす操作技術を修得している。
4. 歩行様式、応用歩行、階段昇降の指導、介助方法を修得している。
5. 脳血管障害、大腿骨近位部骨折の事例についてADLプログラムを立案できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ADLの概念、歴史、範囲、分類、QOLとの関係について	講義	小林 量作
2	ADL評価1（総論、各種評価の名称、特徴）	講義	小林 量作
3	ADL評価2（総論、各種評価の名称、特徴）	講義	小林 量作
4	身の回り動作（食事、排泄、入浴など）の内容、特徴	講義	小林 量作
5	起居動作1（寝返り、起座、起立）	講義	小林 量作
6	起居動作2（応用的動作）	講義	小林 量作
7	移動動作（平地歩行、応用歩行）	講義	小林 量作
8	福祉用具の種類、名称、特徴について	講義	小林 量作
9	ADL聴取の実際	演習	小林 量作 他
10	起居動作の実際1	演習	小林 量作 他
11	起居動作の実際2	演習	小林 量作 他
12	移乗動作の実際1	演習	小林 量作 他
13	移乗動作の実際2	演習	小林 量作 他
14	歩行の実際1	演習	小林 量作 他
15	歩行の実際2	演習	小林 量作 他
16	歩行の実際3	演習	小林 量作 他
17	車いすの構造、チェック	演習	小林 量作 他
18	車いす操作の実際	演習	小林 量作 他
19	ADL問題点、目標、プログラムの考え方	演習	小林 量作
20	脳血管障害の事例	演習	小林 量作
21	大腿骨近位部骨折の事例	演習	小林 量作
22	ADLとEBM	演習	小林 量作
23	まとめ	演習	小林 量作

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	日常生活活動学・生活環境学（第4版）	鶴見隆正，編、隆島研吾，編	医学書院	2012年	5,670円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

三二試験，実技試験、期末試験

履修上の留意点

演習では実習できる服装で出席する。

オフィスアワー・連絡先

小林：研究室 E203, メールアドレス ryo-koba@nuhw.ac.jp, オフィスアワー 月・火・木の17:00～18:00